

2010 年度受託研究概要報告

自動販売機のグラフィックデザイン

研究メンバー

- 大田尚作 デザイン学部プロダクトデザイン学科教授
- 見寺貞子 デザイン学部ファッションデザイン学科教授
- かわいひろゆき デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授
- 柘伸江 芸術工学研究所研究員

委託者

特定非営利活動法人 神戸スイーツ学会

研究概要

【背景】

清涼飲料水に代表される自動販売機は、日本各地に設置され、便利な反面、設置数の多さからくる景観上の問題も指摘されている。

【目的】

ユネスコのデザイン都市に認定された神戸の街は、ファッション都市として「神戸コレクション」の開催や、全国的に有名なスイーツのメーカーも多い。本学では、神戸スイーツ学会から、「ファッションとスイーツ」をコラボレーションさせたオシャレな自動販売機のグラフィックデザインの依頼を受け、ファッション・プロダクト・ビジュアルデザイン学科の学生達によるデザイン提案を行った。

研究成果

3 学科の学生 9 名によるデザイン募集をおこない、全作品のプレゼンテーションの結果、3 作品を選び実制作することとした。2 月 26 日ポートアイランドのワールド記念ホールにて開催された「神戸コレクション」会場において、自動販売機実制作 3 作品を展示し、一般参加者にて人気投票をおこなった。その結果、高井さんのデザインが高得票を得、これからの設置用デザインと決定した。

【まとめ】

ファッションとスイーツのコラボレーションによる、新しい自動販売機のグラフィックデザインをおこなった。設置に向けてはしばらく時間がかかることが予想されるが、学生のデザインが採用されることは、新しい連携の試みとして期待したい。



写真 2 自動販売機モデル案

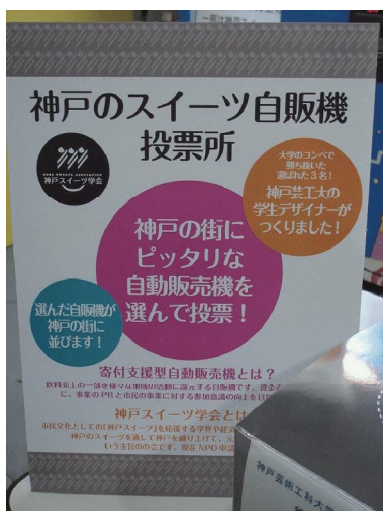


写真 1 神戸のスイーツ自販機投票



写真 3 自動販売機実制作 3 作品